

# 大和の光

1月号

《発行所》

大和教団  
仙台市青葉区錦町2-4-24  
大和教団本庁  
電話 (代) 022-261-2525番  
振替 仙台 02220-3-45512  
発行人 大和教団 定価50円



神紋

八咫鏡と太陽を  
かたどったもの  
で、国家の隆昌  
と世界の共存共  
栄を意味してお  
ります。



## ご皇室の弥栄と日本国家国民の 隆昌と繁栄をご祈念申し上げます

大和教団教主 保 積 秀 胤  
大國神社宮主

令和八年の新玉の歳を祝寿申し上げます。  
昨年は年頭告辞にて「女系天皇容認」「選択的夫婦別姓導入」を阻止すべく、心ある信奉者の皆さんと三百日間祈念行を行修させて頂きました。お蔭様にて現在に押し留まりまっておりますが、今後益々活発化されるものと思っております。此の年も皆と祈り続けて参りたいものと念じおるものです。

また「教主様惟神之道」「こころ」と、続いて「生きる智慧・笑顔の人生を」を上梓刊行させて頂きました。「教主様惟神之道」は私の誕生より令和七年五月迄の歩みを物語るものです。「こころ」は大和教書四冊より三八八項目を抜粋してまとめさせて頂きました。「笑顔の人生を」には私が四十三歳の頃、三度目の百日間徒歩行を六十日目にして無念にも断念せし折りの詩篇集「自覚自戒」の再刊、「えがおのまなび」は神典より笑顔の御教えを九十三言を抜粋したものです。信奉者の皆さまには常に手にとりて身に修めて頂きたいものと希う次第です。

大和教書は天地の理法に添う「生きる智慧」を学修するものです。誰にでも理解できる大神の神教えであり、開祖様の御教えです。その神教え、御教えを日々の生活・人生にて実践・実行することによりその稜威を拝し賜うことが出来ます。知識に留めおくだけでは決して活かすことは出来ません。大和の五大信条である「和心・感謝・信念・努力・実行」を「祈りと感謝と奉仕の実践行」に顕してこそ始めて大神様の大きな稜威を拝受し、御神徳として顕現されるのです。これまでは、今、今この問題を解決するご利益信仰でありました。これでは半分であることを痛切に感じております。大和の御神徳はこの世もあの世も生き通し生きる。この世でも幸せに、あの世では更にの幸せを神授される信仰です。多くの人々はこの世での悩み苦しみを悲しみを解除したい。そのことに一喜一憂する人生であります。大神様はそれでは半分と申され



「この世の生はあの世の死、あの世の生はこの世の死」と説かれております。私たちはこの世の生が終われば、あの世で生き続けるのです。この世で死んでも、あの世で生きるのです。あの世での幸せをも全うすることが、生き通し生きる、生死一貫、幸せに生きることと示しておられます。あの世で生きる力は、この世での浄明正直の心、魂の輝きの力をどれほどに身に治め、あの世に旅立つことが出来るかにあります。

人は「欲しい・惜しい・憎い・気まま」の心が悪しき道へと走ります。それが戦争へと増大する悪しき力となるのです。戦争は奪い合いのなれの果て、平和は譲り合いの賜物です。和して譲る、和議の精神、大和の天地の神々の大御心でありましょう。

戦争紛争は我欲をもつて弱い国を自分の領土として、人民を始め全てを略奪する行為に他なりません。今もロシアがウクライナをイスラエルがガザ地区を攻撃し、領土拡大に悪走りしております。中国も然りです。中国の我が国に対しての異常なまでの怨念の背景には、かつて我が国に破れ満州国を建国されたことへの積年の怨念であろうことを観るものです。

我が国は異国とは違う魂を神々より与えられた大和民族です。世界人類との共存共栄、和議の精神・大和魂を神々より授けられております。

大和の精神は全人類の心のふるさとでありよりどころである

との恒久平和を願う神の国であること、尊い国であることに、私は大いなる誇りをもつものです。教信奉者の皆と共に、世界の恒久平和を、全人類の幸せを希求して参りたいものと希う次第です。結びに教信奉者皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

皇紀二六八六年 元旦  
令和八年丙午歳



桜梅桃李  
勇往邁進

大和教団教務総長  
大國神社宮司



皇紀二千六百八十六年  
丙午歲令和八年  
大和立教六十九年  
大國神社創社五十一年  
新玉の歳をいただき  
あけましておめでとうございます。

新年のご挨拶

出羽神社  
月山神社宮司  
湯殿山神社



令和八年の新春を言祝ぎ、皆々様  
と共に喜び申しあげます。  
大國神社、大和教団の益々の御隆  
昌、その広大無辺なる御教えが一層  
の広がりを見て、数多の皆様方の救  
いとなられると共に、日々御熱心に

保 積 志 胤

御皇室の弥栄 日本国家国民の隆盛  
世界平和万民幸福 教信奉崇敬者の  
皆様、万物一切のお幸せを心より祈  
念申し上げます。  
大和の御教えの神庭に集えまます教信  
奉者の皆様は、天津大霊天照皇大御  
神の清新なる大御神光を仰ぎ戴きて  
大和神道聖地大國神社に遥拝なされ  
まして  
大和祈念拝  
神よ広く守り給え  
四拍手神浄祈念  
吾が身魂(みたま)の神浄(きよめ)  
一拍手  
吾が家族(うから)親族(やから)の

阿 部 良 一

御信仰の教団信徒の皆様、益々の  
御清栄を念じております。  
一昨年の令和六年、天皇陛下の御  
聴許を拝し、愈々、目に見えた姿と  
して、令和十五年第六十三回式年遷  
宮の重儀が動き出しましたが、昨年  
五月二日には山口祭・木本祭、六月  
三日御杵始祭、本年五月には、全国  
よりご参加のお木曳行事も始まり、  
益々、その機運は高まります。  
時代は変われども、連綿とある日  
本国の国事として、国内はもとより、  
世界中の多くの皆様と思いを尽くし、  
完遂を祈るものであります。  
実は、出羽三山との関わりとして

神浄一拍手  
吾が国家社会の神浄一拍手  
吾が天地(あめつち)の神浄一拍手  
にて、高き尊き天地の神々に御祖先  
様に万物一切に大和の神恩感謝 教  
恩感謝 行恩感謝の浄明正直の誠の  
初まりの祈りを仕えられ  
四拍手繁栄祈念  
吾が身魂(みたま)の弥栄(いやさか)  
一拍手  
吾が家族親族の弥栄一拍手  
吾が国家社会の弥栄一拍手  
吾が天地の弥栄一拍手  
大和神導拝  
神よ広く導き恵み給え  
と神縁を固く結ばれましたことお慶  
び申し上げます。ありがとうございます  
ます。  
昨年は、教主様御誕生祭において、  
開祖様より教統継承をなされた教主  
様三十年の節目を迎えさせていただ  
きました。三度の一千日の御神行を

は、全国的には流布されていないか  
もしれませんが、「西の伊勢参り」に  
対し、「東の奥参り」という信仰があ  
り、東の奥とは、出羽三山を差し、  
お伊勢さんに参れば、出羽三山にも  
参るというもので、御祭神が、内宮  
の天照皇大神様と月山の月讀命様、  
日と月、陽と陰として、対を為すと  
いう解釈です。  
是非共、神宮の御盛儀と共に、当  
山も賑わいをいただければ、幸いと  
思います。  
また、本年午年は、羽黒山の十二  
年に一度の御縁年にあたります。第  
十九代欽明天皇の御世、「出羽國大泉  
庄三権現縁起」という古記録に、「羽  
黒山権現者 同十一庚午年(552)、  
添川嶽二出現」という記載があり、  
古来、午年を御縁年と定め、月山の  
卯年については、同じく「新宮(月  
山)大権現 同八丁卯年(547)、  
増河嶽(マスカワダケ)二出現」と

経ながら覚悟と情熱を顕現なされ私  
ども教信奉者を力強く導きお救いを  
いただいております。皆様とこれか  
らも益々若菜にと大感謝と喜びを分  
かち合ひまして大和布教の誓いを新  
たにさせていただきます。記念と  
して、教主様祈念教書「教主様惟神  
之道」「こころ」「いきる智慧 笑顔  
の人生」を謹製協賛をさせていただ  
きました。皆様の生きる力と悟り、  
大和信仰としての誉れと誇りを観じ  
みいただいて欲しいものと願います。  
今年も大和の祈りと感謝と笑顔を稽  
古いたし神様に御霊さまに人さまに  
「深謝奉仕の業によるを覚りて」実践  
実行なされ、世のため人のために貢  
献させていただく 大和善導奉謝行  
五人導き育てることを目標に、皆様  
と共に人さまを助け勇気づけ、大和  
さんに大國さんに愛言葉に導き救  
わせていただきますよう祈り申し上げ  
ます。

いう記載があります。蛇足ながら、  
同じく「欽明七(546) 丙寅年  
本宮大権現 飽海嶽二出現 鳥海権  
現是也」とありますが、出羽国一之  
宮鳥海大物忌神社では、此の説は、  
採用していないようです。  
何れにしても、すっかり消え  
たとは言えずとも、世界を感わせた  
コロナ禍も、漸く落ち着きを見せ、  
上皇様の御聖断遊ばされた御代替わ  
りを、心からお喜び申しあげることが  
叶う事として、本年五月二十七日に  
は、令和二年の企画ではあります、  
令和の御大典の奉祝としての羽黒修  
験の御神事、柴燈祭を、都内の明治  
神宮の森をお借りして、御斎行の運  
びとなりました。  
最後になりましたが、常より御山  
にご信仰をお寄せ頂いている教主様、  
教務総長様、教団役員の方々を始め  
御一統の益々のご活躍、ご繁栄をお  
祈り申しあげつつ、改めて、今後共



謹 賀 新 年

新春を迎え皆様のご多幸を祈念申し上げます  
令和8年元旦

月山 羽黒山  
湯殿山

出羽三山神社

宮 司 阿 部 良 一

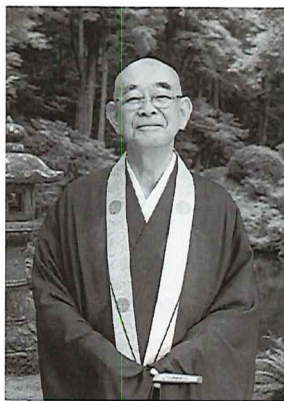






## 新春のご挨拶

天台宗 京都大原 三千院門跡  
第六十三世 門主 小堀光實



令和八年丙午歳 輝かしい新春を  
寿ぎ、謹んでご祝詞を申し上げます。  
令和の御代(みよ) 今上陛下玉体安  
穩 皇后陛下鶴算無窮を祈り奉り、  
更には皇室の益々の弥栄のもとに各  
宮家の平安と、ご多幸を念じ申し上

げます。  
皆さま、あけましておめでとうござ  
います。  
大和教団 保積秀胤教主さま、志  
胤教務総長さま、平松千明事務総長  
さまを始め、ご教団ご信徒の皆さま  
また教団ご親交の方々には、お健や  
かに新年をお迎えなされました事、  
心よりお慶びを申し上げますと共に、  
本年もご交誼のほどをお願い申し上  
げます。  
さて手前どものことで誠に恐縮で  
すが、三千院の歴史の始まりは今か  
ら千二百有余年まえ天台宗を開かれ  
た伝教大師最澄上人(でんきようだ

## 新春のご挨拶

第三一代環 境 大臣  
第一五代内閣府特命担当大臣  
西村 明 宏



明るく希望に満ちた令和八年の門  
出にあたり、皆様におかれましては  
お健やかに新春をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。  
元旦は古来「四方拝」といわれ、  
天皇陛下が清涼殿の庭に屏風を巡ら

せ御座を設け、天地四方及び山稜を  
拝してその年の災いを祓い、五穀豊  
穰・宝祚の長久を祈る儀式が行われ  
ていたそうです。  
新年はただお正月を祝うというだ  
けではなく、心を新たに将来を  
見据えた希望の出発点にしていき  
たいと存じます。  
政治に携わる者として、これから  
新しく迎える一年は更に大きな決断  
と実行が求められ、また新しい飛躍  
の一年とすることが多くの皆様から  
期待されていることから、その責任  
の大きさをしっかりと担い精励して  
まいります。

いしさいちようしようにん)に廻り、  
その総本山は京都と滋賀県に跨って  
位置する比叡山延暦寺です。  
平安京の帝 桓武天皇の御願(ぎ  
ようがん)に依り、延暦寺は国の災  
いを鎮め安泰を祈る鎮護国家の道場  
人づくりの根本道場としての基があ  
り、千二百年を経た今、山上の佇ま  
いや環境はその当時と全く異なるで  
しょうが、修行や仏事法会は今も肅  
々と勤められています。  
その延暦寺に今年の四月八日、保  
積教主さまご同道の下にご信徒ご一  
行さまがご登壇下さると耳にし、実  
に尊く有難い事と喜んでいました。  
折しもその日は延暦寺年間行事の  
中でも特別な法会が修されている最

中ですので、この機会を戴いてあら  
かじめご紹介をと思いつき、年頭ご  
挨拶とはなりません。ご容赦くださ  
い。  
延暦寺の総本山根本中堂では一年  
365日の毎日、ご本尊薬師如来さ  
まへの供養法(おもてなしのお務め)、  
功德経の読誦(お薬師さまのお徳を  
讃えるお勤め)、護摩供養法(火を用  
いて災魔を鎮めと共に特別なおもて  
なしのお勤め)、更には護国三部経読  
誦(国の平安を叶うべく法華経・金  
光明経・仁王経を讀むお勤め)のほ  
か、仏法護持者毘沙門天さまへの修  
法と毘沙門天功德経読誦が一日も欠  
かすことなく勤められています。  
これを「長日御修法(ちようじつ

## 大和の教信奉者は 五人善導の奉謝行を 実践致します。

そして、東日本大震災において地  
域の皆様と同じ立場で苦しい時間を  
乗り越えた経験は私自身の血肉とな  
っており、今後とも互いに助け合い  
絆で結ばれた皆様と協働しながら、  
健全で希望にあふれる日本の未来を  
拓いてまいりたいと強く決意いたし  
ております。  
結びとして、大和乃大道を基とし  
て、大衆の苦悩を救い導くための活  
動に日夜御尽力いただいております  
ことに心から敬意と感謝を申し上げ  
ますとともに、貴教団の益々の御隆  
昌と、教主様、嗣親様をはじめ皆様  
方の御健勝御多幸をお祈り申し上げ、  
新年の御挨拶とさせていただきます。

あなたの一声が  
多くの人を救います

大國主大神様の御手にすがり  
幸せにみちびかれましょう

御神殿と莊嚴に奉斎祀されし御霊璽

永代奉斎慰霊のご案内

大國神社祖霊殿では  
教信奉者皆様の  
先祖代々之霊  
故人の御霊  
閑縁の御霊  
を永代にお祀り申し上げ  
させて頂きます  
幽冥主宰大國主大神様の  
みちびきを拝し奉りて  
霊界並御魂の修理固成を  
お仕え奉るものです

みしほう」と云います。  
もう一つに「御修法大法(みしほ  
うだいほう)」と云って、四月四日か  
ら四月十一日までの七泊八日の間、  
天台座主親下(天台宗最高位の坊さ  
ま)を筆頭に、天台宗の門跡寺院や  
大寺(京都の妙法院・青蓮院・毘沙  
門堂・曼殊院・三千院・日光輪王寺・  
上野輪王寺の各門跡や若手尊寺・  
長野善光寺・東京浅草寺・大阪四天王寺)など、全国から僧侶方十七名  
が比叡山上に参籠参勤なさるお勤め  
があります。  
しかもそれは古来の伝統に倣い、  
今上天皇陛下の御形代(おんかたし  
ろ)として御衣を根本中堂にご奉安  
申し上げ、天台座主親下が大阿闍梨  
(だいあじり・お勤めを先導される  
御重役)となられて早朝から夕刻ま  
で一日三座に修法され、玉体安穩、  
世界平和、万民豊樂を祈願する天台  
宗延暦寺の最重要厳儀とされるもの  
です。因みに本年の御修法は「鎮  
将夜叉大法(ちんじややしゃだいほ

う)」と称し、毘沙門天王がご本尊に  
祀られます。  
天台座主大阿闍梨の修法は白い大  
幕の中で勤めるため直接様子を伺う  
ことは出来ませんが、総本山根本中  
堂内へのご参拝は可能ですので、堂  
内に響く厳かで抑揚ある旋律で唱え  
られる声明(しようみよう)の調べ  
に耳を澄まされてはいかがでしょう。  
そして毘沙門天王さまのご加護を念  
じられながら、未だなお戦禍に在る  
国々の事態の終結と共に人々の安寧  
をお祈りいただければと存じます。  
御修法には拙僧も参籠中で、比叡  
山でお待ち申し上げます。

※ 延暦寺の総本山根本中堂は平成  
28年(2016)から令和12年  
(2030)までの工期で大改修工事  
がおこなわれていて、本堂の全景は  
大きな覆い屋で覆われています。現  
在、内部の細やかな施工工事と内部  
塗装工事が順次進められています。



## 新年を迎えて

大和教団顧問  
自由民主党宮城県  
第一選挙区支部長



土井 亨

先生が首班指名選挙により第一〇四代内閣総理大臣に選出され、憲政史上初の女性総理が誕生致しました。改めまして心から祝意を表すものでございます。

本年もこうして本教団のご信徒の皆様とともに、新たな年を迎えられましたことに感謝を申し上げ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。さて、昨年の十月二十一日、私の同志でもあり、尊敬をする高市早苗

近年、我が国を取り巻く環境はかつてない速さで変化をしており、我が国が進むべき道が改めて問われております。こうした時代だからこそ、明確な理念と責任感をもつ強い指導者の存在が必要であると願っております。そんな折での高市政権の誕生に私も大きな期待を寄せておるところでございます。

高市総理の国家の安全と成長を守

## 新年のご挨拶

大和教団顧問  
前参議院議員



和田 政宗

新年明けましておめでとうございます。教主様、統理様をはじめ皆様方の温かいご指導を賜り、感謝申し上げます。中国をめぐる情勢が緊迫していま

す。これは我が国が何か挑発をしたものではなく、中国の覇権的行動が続く中、地域の平和を守るための台湾防衛について高市早苗首相が言及したものです。これに対し中国は様々な揺さぶりを我が国にかけてきていますが、こうした今こそ国民が「大和の心」を持って団結し、乗り越えていかなくてはならないと考えます。

昨年は、悠仁親王殿下の成年式が執り行われました。大変喜ばしいことであり、皇室の益々の弥栄を祈念いたします。

そして、安定的な皇位継承につい

るといふ確かな視点、未来を見据えた経済政策、そして困難な局面でも信念を貫く姿勢は、我が国に新たな活力をもたらすことでしょう。我が国が再び力強く前進するための明確な方針と誠実な判断は我が国に新たな希望をもたらしてくれるものと確信をしております。

もちろん順風満帆ではなく、足を引く張る勢力も多々ございます。先の衆議院予算委員会において、台湾有事を念頭に「存立危機事態」に該当する可能性や武力行使の是非について質疑が交わされた折、高市総理は「(中国が台湾に対して)戦艦を使つて、武力の行使も伴うものであれば、これはどう考えても(日本の)存立危機事態になりうるケースだと私は考える。」と述べました。我が国

の立場を鑑みれば、至極当然の答弁であるにも関わらず、これに対し、中国政府は「一つの中国」の原則に反しており、内政干渉に当たるとして猛反発を続けており、日に日にエスカレートの一途を辿っております。野党やマスコミもそれに追随するかの様に高市総理下げを一齐に開始し、テレビや新聞にはネガティブな報道が溢れ、一体どの国の国会議員やマスコミかと疑わざるを得ない状況ともなっております。高市総理にはこうした反日勢力には決して屈することなく、しっかりと国家観の中で国益を護持するために、毅然とした対応を続けて頂ければと願っております。私も出来る限りのお手伝いをさせて頂く所存でございます。

本年も大神様の大御心、そして、開祖様、教主様の御心を心として、祈りと感謝

大和の精神は  
全人類の心のふるさとあり  
ゆるぎなくあり

て今こそ結論を出さなくてはなりません。戦後皇籍を離脱した旧宮家の方々の皇籍復帰を実現することが重要です。それはなぜか。皇位継承順位第二位である悠仁親王殿下に男子が誕生になれば皇位の安定継承が解決するということではなく、悠仁親王殿下が天皇陛下として即位される頃には、同世代の男系男子が悠仁親王殿下しかおられなくなることを深刻に考えなくてはなりません。男子誕生について相当の重圧が悠仁親王殿下と妃殿下にかかることにも、もし男子がお生まれにならないと時に、「それから考える」のでは遅いのです。

現在、ご結婚で皇籍を離脱される女性皇族の方々に、皇族として公務を続けて頂くという案が併せてあります。

結びになります。教団の益々のご繁栄と教主様、統理様をはじめ皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

と奉仕の大和の信仰生活を実践し、私自身は再起に向けて活動を続けさせて頂きます。皆様におかれましても、本年も弥栄の年となりますよう、お祈りを申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

大和教団ホームページでは教主様のお言葉(ブログ)が日々更新されております。

大和教団のこと、祭典行事の紹介、入会案内、ご神託霊媒・祈禱等各種のご案内、正しい信仰生活などについて詳しくお伝え申し上げますので、どうぞご覧ください。



大和教団ホームページ URL  
<https://taiwakyodan.org/top/>



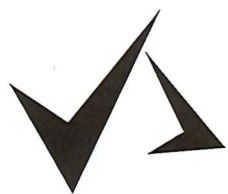
株式会社 フジグリーン テクノサービス

〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字北宮神明6-1  
TEL 022-382-6616 FAX 022-382-6617

〔浄化槽・各種排水処理施設〕  
〔メンテナンス・設計・施工・販売〕

## 土地・戸建・マンション・事業用地

不動産の売買、ご相談ください  
相続等で物件の売却をお考えの方、当社にて直接買取も行なっております  
相談無料、査定無料、秘密厳守、親切丁寧



一步不動産販売株式会社

〒980-0014 仙台市青葉区本町一丁目6-23  
TEL:022-302-4041 FAX:022-302-4042

一步不動産販売 検索  
スマホの方は右のコードから▶





新春のご挨拶

参議院議員



山 谷 えり子

します。

丙午(ひのえ・うま)の本年は、太陽のような強い光熱の激しさを力に変え、逆境を乗り越えていく力を授けてくれる年といわれています。午年の今年は、一気に駆け抜けるように何事にもスピード感をもって邁進していく一年でありたいと願います。

皇紀二千六百八十六年、令和八年が幕開けとなりました。謹んで新春のお慶びを申し上げます。教主様はじめ教団の皆様方の御指導を仰ぎつつ、本年も瑞々しい気持ちで前へ前へと歩んでまいりたいと存じます。

昨秋に高市総理大臣が誕生し、内閣発足後二ヶ月が過ぎました。私は自民党の北朝鮮による拉致問題対策本部長をつとめております。トランプ大統領が来日時、拉致被害者ご家族と赤坂の迎賓館で面会され

た際に「米国はどこまでも、彼らとともにある」と早期解決に向けた日本への支持を改めて表明してくれたことは家族をはじめ関係者にとつて大きな励みとなりました。また十一月の国民大集会で、高市総理が日朝首脳会談を申し入れていた旨の発言もされ、大きな潮目がきていると感じます。

昨年、私は日本青年遺骨収集団(JYMA)の顧問に就任いたしました。戦後八十年を過ぎた今なお、南海の島や海外で眠る戦没者のご遺骨を一日も早く祖国へお帰りのため、けるよう力を尽くしてまいります。

また、高市早苗会長の総理就任に伴い、鳥獣捕獲緊急対策議員連盟の会長をつとめることとなりました。近年のクマによる人的被害は災害級ともいわれ、自衛隊の本来の任務とは異なるものの、国民の生命を守る観点から部隊の派遣に対処いただい

新年のごあいさつ

大和教団相談役  
宮城県議会議員(宮城野区)

石 川 光次郎



新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私事になりますが、昨年夏の参議院議員選挙宮城県選挙区に自由民主

党公認で出馬をいたしました。教団より推薦をいただき、教主様をはじめ教団をあげてのご支援を賜りましたことに心から感謝と御礼を申し上げます。結果を出すことができませんでしたことは、候補者である私自身の実力不足であり、お支えをいただいた皆さまのご期待に応えることができませんでしたことにお詫び申し上げます。十月に行われました、県議会議員補欠選挙において県政の場に再度お送りいただきました。今後は一から出直しをし、原点に返り県民の皆さんに納得いただける故郷を再生していくため微力を尽くしてまいります。

さて、一昨年の衆議院選挙、昨年の参議院選挙を経て、与党の過半数割れや友党の連立離脱など国政を取り巻く環境は著しく変化し、不安定な政権運営を余儀なくされる中において、高市政権がスタートしました。閉塞感が漂う中において、女性初の首相としての手腕に大きな期待がかかっている中で、政治に空白は許されませんので、一日も早い党の立て直しと、国民からの信頼を回復していただき、国民の生活を直撃している物価高・燃油高・資材高などから脱却しなければなりませんし、我が国を取り巻く東アジアの安全保障環境を見ますと台湾情勢など予断を許さない状況が続いている現状を打破していただきたいと考えております。

このような困難が相次いでいるときこそ神仏を畏れ敬い、永い伝統に培われた日本古来の文化を愛し、真

かたくり祭 4/5~4月下旬

100種類を超える山野草が咲き誇る

大國神社山野草公園

ていることに心より感謝申し上げます。

世界が複雑化している中であつても、「日本と日本人の力を信じてやまない」と発言する高市総理のもと、来る年を国民の皆様が希望を感じる年としていきたいと切に願っています。

結びにあたり、国家の安寧と皆様の御健康と御多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

の日本人としての心を取り戻してまいらねばなりません。次代を担う子供たちに、日本人の誇りを持つて過ごせる「ふるさと」を取り戻すためにも、わが国の歴史と伝統、文化を尊重し、正しく伝えていく必要があると考えます。私も大和の御教えを胸にしっかりと刻み、世界平和と万民幸福のために、政治の立場からこれらの問題に取り組んでまいりたいと思っております。

結びになりますが、教団のますますのご繁栄と隆昌と世界平和・万民幸福、そして皆さまにとりまして本年が素晴らしい一年になりますことを心からお祈りいたしました新春のご挨拶といたします。

MABUCHI ENGINEERING 熱・水・空気を創造する

株式会社馬渕工業所

代表取締役 小野 寿光

〒982-0003 仙台市太白区郡山4丁目10-2  
TEL. 022-247-0181 FAX.022-249-7253  
URL. <https://mabuchi-engineering.com/>

2月行事予定表	
2月1日	朔日特別火祥神事
2月3日	特別禁厭祈禱
2月5日	神光龍神祭
2月8日	節分厄除祈願祭
2月11日	親神感謝祭・祖霊万霊祭
2月15日	月次祭・五講祭
2月17日	祈年祭
2月23日	福神招福祭
2月25日	天長祭
2月28日	開祖祭
2月28日	火難盗難災除特別祈禱
六根修養会	
3月行事予定表	
3月1日	朔日火祥神事
3月5日	神光龍神祭
3月8日	大和教団設立記念日
3月11日	御位稱號神授諸神御祭
3月11日	神柳奉斎神屋敷神感謝祈念祭
3月11日	交通安全祈願祭
3月11日	東日本大震災十五周年犠牲者追悼慰霊祭並復興祈念祭
3月15日	親神感謝祭・祖霊万霊祭
3月22日	月次祭・五講祭
3月22日	開祖様式年祭
3月28日	万霊慰霊大祭・水見地蔵大祭
3月28日	六根修養会修養会

給水・排水・衛生設備工事・管工事一式

AK 青木建業

代表 青木 力

〒981-8003 仙台市泉区南光台一丁目33-2  
TEL・FAX 022-271-9259

羽 黒 山

奥 井 坊

院主 奥井信雄

山形県鶴岡市羽黒町手向  
TEL(0235)62-2283

各種仕出し料理  
鮮魚・青果

(有) 菊地魚屋

仙台市青葉区宮町4丁目9番1号  
TEL/FAX 022-223-2972



## 新年のご挨拶

大和教団相談役  
宮城県議会議員(太白区)

佐々木 幸 士



謹んで新春のお慶びを申しあげます。  
本年も教団の相談役として、皆さまと一緒に「大和の御教えの普及」「世界平和」「万民幸福の達成」のため全力を尽くしてまいります。

さて、私事となり誠に恐縮でございますが、この度、第四七代宮城県議会議員に就任いたしましたことを年頭のご挨拶とともに皆さまに報告させていただきます。県議会議員としての活動の大きな節目を迎えましたことをここに報告できますことは、何よりもこれまでお支えいただきました皆さまのお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。  
脈々と受け継がれてきた宮城県議会の歴史と伝統を守り、様々な立場や考えがあっても宮城県を思うすべての気持ちがこの議場の「ど真ん中！」にある。そして、「全ての皆さまと正直に本音で向き合うことを大切

にしていく。」このことを自らの議会運営の軸に据えさせていただき、県民皆さまの想い、さらには議会における議論の言葉が、今まで以上に見える宮城県議会を目指して、この度の重責を果たしてまいりますので、引き続きのご指導・鞭撻をよろしくお願い申し上げます。  
昨年は一年を通して宮城県内において選挙が行われ、いわゆる選挙イヤーといわれた年でもございました。民主主義であり法治国家であるこの国において選挙は、公正且つ厳格な規定のもと実施される、もつとも重要な政治の根幹といえるものであります。

しかしながら、近年はその規定を逆手に取る手法や、本来の目的からは大きく逸脱したような候補者の在り方など、選挙の在り方の根本を揺るがすような事態が様々な地域の選挙の中で散見される事態となっております。宮城県においては、その事態がさらに深刻化したものが先般の宮城県知事選挙であり、選挙における虚偽情報や脅しともいえる誹謗中傷が大きな問題となりました。宮城県議会としても由々しき事態を重く受け止め、全ての県民を対象とした誹謗中傷対策の条例作成に向けた検討会を設置し、表現の自由と十分に配慮しつつ、インターネット上の誹謗中傷対策の強化に向けた動きを早急に進めているところであります。

誰もがそれぞれに自らの考えを持ち、自由に意見を述べる。今を生きている私たちがすれば当たり前のことだと思えます。しかし、生まれた国や環境など、その状況次第では当たり前ではない、その行為は誠に尊いものであり、自由だからこそ自らの心にも向きあう個の在り方、その人格形成が益々求められる時代となっている。このような状況が続く、さらには加速していくような世の中の流れは、これからの国政や地方行政

## 年頭のご挨拶

大和教団相談役  
仙台市議会議員(宮城野区)

渡 辺 博



新年あけましておめでとーございませう。  
皆様におかれましては、ご家族揃いで清々しく新年をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。  
旧年中は、温かいご支援と変わらぬ

ご厚情を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで、仙台市議会議員として十期目の任期も残すところ六〇〇日余りとなりました。これまで支えてくださった皆様への感謝を胸に、残された任期を一日一日、決して緩むことなく全力で務め上げてまいります。  
年の始めにあたり、私は改めて心に誓うことがあります。  
宇宙の理(ことわり)に適わぬものには、決して迎合せぬこと。  
愛なき道、真理を外れた道は、決して歩まぬこと。

保積秀胤教団様のご指導のもと、大和大道を歩む者として、和心を根とし、感謝を忘れず、揺るがぬ信念を持ち、不断の努力を重ね、必ず実行する。  
和心・感謝・信念・努力・実行の五大信条を、今年も変わらぬ生き方の柱として心に深く刻みます。  
元旦の朝、神棚に若水を捧げ、新たな一年の決意と誓いを祈願する中で、「世界一平和で豊かな日本」を遺してくださった数多の祖先様、そして幾多の困難を乗り越え、この国を守り育ててくれた先人への感謝の念が、自然と湧き上がってまいります。名を求めず、利を誇らず、ただ「よきよく、さらによき」と日々を積み重ねてこられた無数の先人の心があつたからこそ、今日の日本があり、世界が注目し賞賛する日本文化が連綿と受け継がれてきたのだと、

改めて深く思い至ります。  
私たちは、守り継がれてきた文化と精神を礎に、次の世代へ何を残すのか。その問いから決して目を背けることなく、現場に立ち、考え、行動し、実践していかなければなりません。  
人として、信仰者として、そして仙台市議会議員として。  
本年も初心を忘れず、皆様の声に真摯に耳を傾け、誠実に歩み続けることを、ここにお誓い申し上げます。  
「前を向いて、上を向いて」しっかりと歩んでおられる教友皆様と共に在りたいと念願致します。  
結びに、大和教団の教勢がさらに盛んなること、ご皇室の弥栄、日本国の発展、皆様お一人おひとりにとりまして、健やかで実り多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。  
年頭のご挨拶といたします。

石油製品・LPガス・自動車用品  
住宅設備機器販売—これからも社会を支える—  
“縁の下”の力持ち。であり続けたい

株式会社 アベキ

仙台市青葉区二日町11番11号 TEL022-262-4511  
http://www.abeki-21.com

すなわち、地域の皆さまの生活に大きな影響を及ぼすことへの強い危機感を持たなければならぬ。私としてもその想いを強くしているところでございます。  
選挙は個々人の意思を投じること、地域をつくり、国を創り、世界を創る。まさに、大和聖業にある「国家隆昌と世界の共存共栄」の目的へと通じる重要なものであり、そこに今必要とされますのが、さらなる「人格形成の邁進」ではないでしょうか。新しい一年、ご教団様のお教えのもと、皆さま共々で大和の御教えの励行に益々精進してまいります。  
結びに、大和教団の今後益々のご発展とご教団様をはじめ皆さまの更なるご健勝とご活躍の祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

お陰様で創業80周年!!



確かな技術で明るい未来を。

誠意と自信をもって、

私達が創る「安全」で「安心」できる暮らし。

大青工業株式会社

総合建設業・産業廃棄物処理業

■ 本社/仙台市青葉区上杉1丁目3番22号

■ TEL:022-222-0224(代)



新年のご挨拶

大和教団相談役  
仙台市議会議員(泉区)



斎藤 範夫

令和八年午年の新春を迎え、謹んで御皇室の限らない弥栄をご祈念申し上げますとともに、世界の平和と日本の繁栄、大和教団のご発展と、教団皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

本年は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から十五年という節目の年を迎えます。年月の経過とともに、被災の記憶はどうしても風化しがちですが、今なお苦しみや悲しみを抱えておられる方々がおられます。加えて、近年は地震のみならず、激甚化・頻発化する豪雨災害や雪害など、新たなリスクも顕在化しております。「自分の地域は大丈夫だろう」という慢心を排し、過去の教訓と最新の知見を踏まえながら、防災・減災対策を不断にアップデートしていくことが、地方自治体に課せられた重大な責務であると痛感しております。

新春のごあいさつ

大和教団相談役  
仙台市議会議員(若林区)



菊地 崇良

のもと、皆様お一人おひとりにとりまして、健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。皇紀二千六百八十六年、令和八年の新春を迎えるにあたり、大和教団の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年が大神様の御加護

昨年を顧みますと、自然災害や経済の不安定化など、幾重にも試練が重なった一年でありました。そのような中であつても、我が国の大地は再び豊かな笑顔をもち、人々は支え合いながら、日々の暮らしを営んでまいりました。こうした何気なく重ねられてきた営みの中にこそ、見えざるまればびによる無辺の愛と、先人より、連綿と受け継がれてきた大和の精神が息づいており、深い感

ります。

一方で、少子高齢化や家族・地域の絆の希薄化、インターネット空間にあふれる偏った情報などにより、社会の分断や孤立が深まっているとの指摘もあります。目に見える便利さや効率性だけを追い求めるあまり、感謝を忘れ、命の尊さや人と人とのつながりを軽んじる風潮が強まっています。今こそ、敬神崇祖の心を礎として、「祈り」と「感謝」と「奉仕」の三つの言葉を日々の暮らしの中で実践し、子どもたちに健やかな心を受け継いでいくことが肝要で

あると考えております。

私も、仙台市議会議員として、市民の皆様が安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるため、防災・減災、福祉、教育など、山積する課題の解決に全力で取り組んでまいります。大和の御教えをしっかりと胸に刻みつつ、教団の皆様から賜りましたご恩に報いることができまよう、これまで以上に襟を正し、誠心誠意、市政に精進していく決意です。

結びに、大和教団のさらなるご隆盛と、教主様をはじめ教団皆様お一人おひとりにとりまして、本年が希望に満ちた明るい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

大和の言葉  
人を救うとは、  
捨て身になれる覚悟である。  
(大和神典 第四之〇七八言)

謝と畏敬の念を覚えるものであります。世界に目を転じれば、価値観の揺らぎが各地に影を落とし、地域紛争や対立が続く中で、国家の主権と尊厳が改めて厳しく問われる時代となつております。我が国周辺においても、国際協調の枠組みを揺るがしかねない動きが見受けられ、予断を許さぬ状況が続いております。

仙台市をはじめとする自治体レベルにおいても、外国勢力による土地・森林・水源の取得が進むとともに、科学技術・学術・経済分野への浸透が拡大しております。あわせて、教育や文化を通じて、人々の価値観や意識の形成に影響を及ぼす動きが、着実に見受けられます。

多様性や包括性といった耳触りのよい言葉のもとに、こうした変化が進められている深謀にも、私たちは目を向ける必要があります。

選択的夫婦別姓や女系天皇をめぐる議論、さらには短期的な経済的利得を優先し、国際秩序の不安定さや国の自立性への配慮を欠いた大陸市場重視の風潮などは、価値観や制度の基層から国の在り方を変容させようとする動きの、端的な例と捉えることができるでしょう。

これらは、武力を用いることなく社会の基盤や人々の意識に作用する、侵略の一形態と捉えるべき現象であります。

このような状況のもと、我が国はいま、将来に向けて何を守り、いかなる道を選び取るのか、その路に立っていると言えます。

昨秋に誕生した念願の高市政権が、安倍元総理の掲げた国家観と志を受け継ぎ、国民の生命と暮らし、そして精神を守る責任ある政治を進めつつあることは、混沌の時代にあつて確かな希望であり、国家の軸を取り

各種授與品奉製

金襴錦守  
合成樹脂製守  
木札・紙札守  
金属製御守  
反射ステッカー  
記念品  
御神矢・熊手  
その他希望に奉製します。

株式会社 三愛工業

〒310 茨城県水戸市大塚町字合津一七六・一六  
電話水戸(026)251-2051 機  
FAX水戸(026)253-5844  
e-mail: info@sanai-kogyo.co.jp

人生儀礼  
厄祓  
車のお祓いは

大國神社

ご祈禱は随時、  
お申し受け致します

022-394-2720

戻す歩みとして、着実に評価されるべきものであります。

あめつちの神にぞまもる  
国なれば正しき道を  
人にしめさむ  
(明治天皇御製)

年頭にあたり、天地の理に貫かれ、神々の御加護をいただいていたこの国が、正しき道を歩まんと努め、その姿をもって人の世の在り方を示そうとしてきた歴史と営みに、改めて思いを致すものであります。本年も大和教団の皆様と心を一つにし、正道を歩み続けてまいります。

確定申告等ご相談下さい。

有限会社 高野会計事務所

代表取締役 高野藤也

仙台市若林区成田町18番-2 TEL 022-256-1941

立教八十年に向けて大和の御教えを天地に満たしましょう  
大和の信仰で笑顔のこぼれるような家庭を築きましょう



〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763



## 新春のご挨拶

日本会議事務総長



梶 島 有 三

明けましておめでとうございます。令和八年の新春を迎え、皇室の弥栄をご祈念申し上げ、教主様はじめ、大和教団の教信奉者の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。日頃より貴教団におかれましては、

日本会議の国民運動に格別のご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。昨年令和七年に日本会議が取り組んだ主な活動をご報告申し上げます。

一、安定的な皇位継承制度の確立を目指し、「皇室の伝統を守る国民の会」(山東昭子会長)とともに、旧宮家の皇族復帰を実現する法制度を提唱した行事や啓発活動を実施しました。また九月には悠仁親王殿下の成人式をお祝いする集いを開催し、一刻も早い男系による皇位継承制度の確立を政府・各党に

要望しました。

二、憲法改正運動では、衆参両院の憲法審査会における論議促進を訴え啓発活動を推進し、また五月三日の憲法記念日には全国各地で憲法改正行事に取り組みました。この日は、ライブを含め三万人が参加しました。

三、今夏の参議院選挙において、日頃より日本会議の政策実現を推進されている日本会議国会議員懇談会所属の候補者を、各県選挙区と全国比例区において推薦し支援活動を実施しました。

四、大東亜戦争終戦八十年企画事業として、八月十五日に靖國神社境内の特設会場において「追悼と感謝の集い」を開催するとともに、英霊顕彰の映像コンテストの実施や沖縄戦の特攻作戦を企画した特別展示会を靖國神社や全国各地の護国神社などで開催しました。

五、昨年の年頭に国会上げが懸念された夫婦別姓法案に反対し、家族の絆を守る活動を展開。結婚後の旧姓の通称使用の法制化をめざして、国会議員や地方議員の賛同署名を集め、旧姓使用の法制化を政府各党に要望する国民集会を開催しました。

さて昨秋は、石破内閣の退陣を受け、自民党員の圧倒的多数の支持を受けた高市早苗氏が総裁に選出され、十月二十一日には女性初の内閣総理大臣に就任しました。自民・維新連立の高市政権は「自立した国家」を目指し、政治、経済、外交、防衛などで目覚ましい政策を次々と実行し、低迷していた国政に明るい希望が射し込んでいます。各社の国民世論調査でも、常に六〇七割という高い内閣支持率を維持しています。

自民・維新の連立政権合意書では、

昨年来日本会議が取り組んできた重要政策が期限付きで明記されました。

①安定的な皇位継承制度の取り組みは、皇統に属する男系男子(旧宮家)を養子により皇族とする皇室典範改正案を、通常国会で成立を目指す。

②憲法改正は、自民・維新両党で九条改正と緊急事態条項に関する条文起草協議会を設置し、緊急事態条項については条文案を今年度の国会提出を目指す。

③家族の氏制度については、同一戸籍同一氏の原則を維持し旧姓の通称使用の法制化を通常国会で成立を目指す。

日本会議では、昨年来取り組んできたこれらの国家的重大課題の解決に向け、引き続き全国の皆様とともに国民運動に邁進する所存です。

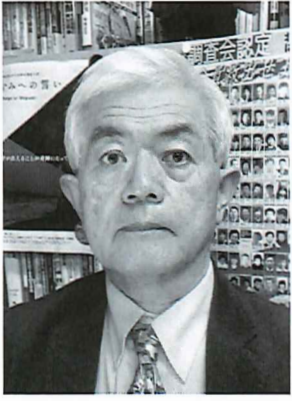
結びに当り、新しい年が貴教団と教信奉者の皆様方にとりまして、希

望と喜びに満ちた年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

## 新年のご挨拶

特定失踪者問題調査会代表  
拓殖大学海外事情研究所教授

荒 木 和 博



教主様始め大和教団の皆様には平素より大変お世話になりありがとうございます。昨年十月妻の母が亡くなっており年賀のご挨拶は失礼させていたいただきますが本年が大和教団にとり、そし

てそれぞれの皆様にとり素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

毎年このご挨拶を書くたびに何と動かないことのお詫びばかりなので今年は少し前向きな話を書かせていただきます。

国連の強制的失踪作業部会では昨年二月、以下の方々について北朝鮮に対して安否の確認と人権の保障を求めました(敬称略)。

中野政二・寺越昭二・寺越外雄・寺越武志・紙谷慶五郎・紙谷圭剛・紙谷礼人・紙谷速水・野田福美・矢倉富康・田村正伸・高橋太一・仲里次

弘・藤田進・木村かほる・生島孝子・齊藤裕・徳永陽一郎・大屋敷正行・萩本喜彦・国広富子・宮澤康男・日高信夫・中塚節子・山本美保・国井えり子・日高満男・有本恵子・石岡亨・松木薫・田口八重子・横田めぐみ・原敦晃・市川修一・増元るみ子・曾我ミヨシ・久米裕・松本京子・田中実

この後私が五月に作業部会の第一三六回セッション(バンコク)に参加、さらに九月に開催された一三七回セッション(ジュネーブ)には特定失踪者家族会の竹下珠路特定失踪者家族会事務局長・吉見美保副会長・森本美砂事務局次長と私が参加、訴えを行いました。

このような流れの中で十一月六日、作業部会ではさらに以下の失踪者についての安否確認と人権の保障を求めています(敬称略)。

小住健蔵・大澤孝司・安達俊之・

山本美保・林かな子・西安義行・矢倉富康・和田幸二・佐々木悦子・富川久子・中村三奈子・辻出紀子

山本美保さんは二月の文書と十一月の文書で重なっておりその理由はよく分かりませんが、リストの内容からして国連は私たちや日本政府からの情報をそのまま鵜呑みにしているのではなく、国連の判断で検討したリストを作っていることが分かります。日本政府の拉致認定が十九年間全く進まない中でこれは大きな前進であると言えます。

昨年、これまでの常識を越えた様々なことが起きました。時代の大きな転換点に拉致問題もやっと前に進められるところまで来ていると感じています。進展を実現させるため本年もがんばります。

重ねて教主様・教団の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶の言葉に代えさせていただきます。

## 今年こそ、拉致被害者 全員を取り戻そう!

祖国に帰れる日を夢見て生きています  
ご家族が元気な内に!!



1977.11.15拉致



1978.8.12拉致(同時に拉致)



市川修一さん



1983.7月頃拉致



1978.6月頃拉致

## 今こそ憲法改正を!

## 日本会議

日本会議は、美しい日本の再建と誇りある国づくりの  
為に、政策提言と国民運動を推進します。

<http://www.nipponkaigi.org/>



新年を迎えるにあたり

大和教団参与  
救う会宮城会長



新年明けましておめでとう御座います。  
本年も又御皇室の弥栄と、我が国の繁栄を心より祈念いたします。  
さて北朝鮮による日本人拉致問題を解決すると活動を始めてから今年で

安藤 哲夫

二十五年目を迎えました。  
二〇〇二年に五人の被害者が戻って以来、今日まで誰一人帰国した方はいません。  
政府は必ず救出するというスローガンを総理大臣が変わる度に掲げ、小泉純一郎氏以後、石破茂氏まで、九名の総理大臣が、被害者家族を初め国民に対して虚偽の発言をし続けて参りました。  
しかし私達国民は、その事を見過さずわけには行きません、そこで助け出す手段として唯一出来る事、被害者救出の署名を欠かさず街頭に立ち行う事で、事件の未解決を訴え多くの人達に知らせる事でありま

新春のご挨拶

大和教団事務総長



新年明けましておめでとうございます。  
本年もこうして、大和の教信奉者の皆様とともに、穏やかに新年を迎えさせて頂きましたことに、心から感謝を申し上げます。有難うござ

平松 千明

います。  
昨年、教主様は年頭告辞において「女系天皇」と「選択的夫婦別姓」を容認する悪法を阻止する三百日間の祈願行を声高に宣言なされました。教主様の日々のお祈り、賛同して追隨なされた教信奉者皆様の祈りにて、当時の推進派の石破政権から、慎重派の高市政権へと変わり、また積極推進派の公明党が連立から離脱するという追い風もあり、現在は法制化への動きも落ち着いているところでございます。しかしながら、推進派の勢いが決して弱くなった訳ではなく、虎視眈々とその機を伺っているのが現状であります。今後も本教と

平成から令和に移り時代の流れの中で人々から徐々にそして確実に拉致事件は、消え去ろうとしています。街頭署名をする度、無関心に目の前を通り過ぎて行く人々を見ていると、つくづく思います。自分の親、兄弟、子供がもし拉致被害者になつたらどうするんだと心に叫んでしまします。何としても救い出したい、その思いをたぎらせ同志たちと街頭に立つております。  
国民の生命と財産を護る役割を担う人達が今年こそ必ず解決をしてくれる筈だと、自分に言い聞かせ頑張つて行くしかございません。  
去年の暮、久しぶりに靖國神社を参拝致しました。  
銀杏の参道は、葉が次々に散つて、なにかをみせております。  
ちりしきる 枯れ葉の様に  
つわものの魂を知るなり  
靖國の参道  
青舟

ENEOS 高砂サービス・ステーション

株式会社 郷家商会

仙台市宮城野区中野字明神116番地

TEL 代表 022-259-1826  
サービス・ステーション 022-258-0709  
FAX 022-254-2170

今年私は私も傘寿、せめて世の為、国の為に二十五年間共に、活動し続けてきた大和教団、教主様と力を併せ拉致解決を必ず達成させる為に頑張つてゆくつもりでございます。

日本建築工芸設計事務所

東京都渋谷区代々木1-1-2(神社本庁内)  
電話03-3379-8822  
FAX03-3299-8702

参る所存でございます。

昨年は教主様が教統をご継承なされてから三十年の有難き節目の年を迎えさせて頂き、皆様からの真心のご奉賛を拝し、記念の教書「教主様・惟神之道」「こころ」「生きる智慧・笑顔の人生を」の三冊を謹製させて頂きました。教信奉者皆様には是非拝読を頂き、生きる智慧、生きる勇氣として頂ければと念ずるものでございます。

本教団は一貫して、大國主大神様が開祖様にご神命を下された「この世を大和の大御名で清めなせ」を実現すべく世人の救済のために鋭意宗教活動を行っております。そのためにも「一人が五人を導く」善導奉謝行を全ての教信奉者皆様が実践をし、大きな力をお貸し頂ければと存じます。信仰の基となる、敬(敬い)、信(信じる)、謝(感謝)を自らが顕現し、正しく大和の信仰をご理解頂きその上で、教主様の御心を心とし

大和の三大幸せ

- 一、身体 の健康
- 一、経済 の安定
- 一、心 の安心

て『大和の信仰生活』の根本である「祈りと感謝と奉仕の生活」を実践頂きたいと願っております。大願成就達成のために「大和大道」(たいわのまさみち)を、ともに歩んで参りましょう。

結びに御皇室の弥栄と世界平和万民幸福、日本国家国民の隆昌と教信奉者皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げます。本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。

大和拝

一搬建築、設計施工



有限会社 山田工務店

知事許可(般-4) 第21409号

代表取締役 山田 孝一

本店 加美郡加美町字新小路87-4  
〒991-4335 TEL(0229) 67-2146  
FAX(0229) 67-6956

富谷事務所 富谷市上桜木1-2-5  
〒981-3328 TEL(022) 342-1035  
FAX(022) 342-1045





開祖様への感謝の祝詞を奏上される教主様

開祖様のご生誕日である十二月七日の午前十時より、大國神社祈禱殿において、神ながら道統百十八年祭、開祖様御生誕百十八年祭が斎行された。

開祖様御尊父保積敬一郎様と開祖様の御尊影を御神前に拝し奉り、齋主教主様のものと、大和の御教えを世に開かれしことへの感謝をお捧げ申し上げる祝詞が奏上された。

齋主教主様玉串拝礼に続いて、教母様、総裁家、ご来賓、信奉者代表が順に玉串を奉奠申し上げ、儀式は修められた。

続く祝賀式典に先立ち、開祖様を偲んでの記念映像



## 神ながら道統百十八年祭 開祖様御生誕百十八年祭

集「おやさま」が上映され、在りし日の開祖様が澁淵として御親教を説かれていた御姿や力強い行の御姿などを拝し奉り、参列者一同は生ける勇気を授かった。

引き続き、教務総長の開式の挨拶にて、式典が開かれ、相談役仙台市議員菊地崇良先生、同じく内藤良介先生よりご祝辞を頂き、株式会社石駒代表取締役松田勝行氏よりご祝辞を頂いた。松田氏からは現在開教社に鎮座されている大物生大神様御神像が奉鎮された際の逸話等が述べられた。



教務総長より開式のご挨拶

来賓紹介、祝電披露の後、信仰体験発表が行われ、株式会社タイワトラベルサービス代表取締役福原祐氏の大腸癌罹患にまつわる奇跡体験が、鉦持敦子教師により代読、神事部次長品川弓教師より、亡き夫の故品川雅之元神事部次長へ感謝を込めての体験が涙ながらに語られた。

続いて、「開祖さまを語る」と題して、教主様より特別講演を頂き、参列者一同は有り難く拝聴を申し上げた。

教主様は、母親であり御教えの祖であられた開祖様の厳しくも慈愛溢

れる数々の想い出を偲ばれ、語られた。

続く祝賀会は救う会宮城の安藤哲夫会長の乾杯のご発声より開会され、大和歌劇団による大和舞が披露されるなど終始和やか、且つ賑やかに進められた。

結びに熊川知長祭儀部次長による弥栄祈念にてお披露目となった。

開祖様の御教えを広く遍く、世人に広めるべく気持ちも新たに、参列者は帰路についた。

開祖様に感謝の誠を捧げし尊き偲びの一日となった。

### 信仰体験談

#### 奇跡の体験記

(株)タイワトラベルサービス  
代表取締役 福原 祐

この度の大腸癌の手術におきまして、大和之大神様、教主様に大き御神導と御力、お救いを頂きました奇跡の体験を語らせて頂きます。

本年二月末の朝、トイレに行つたところ血便があり、大腸癌の症状かと不安がよぎりました。

早速自宅近くの尾花内科クリニックを受診したところ、先生から大腸内視鏡検査の提案を受け、その場で三月五日の予約をお願いしました。

当日を迎え、初めての大腸内視鏡検査を受けました。内視鏡が大腸に入つて間もなくポリープが潰れたような箇所が見つかり、更に奥に進むと別にポリープ二つがある事が確認出来ました。先生は最初のポリープが潰れたような箇所を再度確認しておりました。

検査後、先生の説明があり、単刀直入に大腸癌ですとの事でした。これが俗にいう癌宣告かと思いましたが、ポリープが潰れた状態なのでリンパ節に転移しているものと思われ、ステージ三の可能性が有りますとの事でした。直ぐに大崎市民病院に手術の予約を取って頂きましたが、五月十二日に手術をすることになりました。毎日が不安で仕方ありませんでした。

結果を聞いて直ぐさま、教主様に報告させて頂きました。教主様より、神様が絶対守って下さると御神託を頂いたから心配は無い、との温かいお言葉を頂き、安心致しました。また、月例教職員会議の場においても大丈夫だ、教職員も皆毎日祈れと力強いお言葉を頂きました。

三月十九日、大崎市民病院にてCT検査、胸部・腹部レントゲン検査を受け、三月二十六日に検査結果を確認、内容は尾花内科クリニックと同じで大腸癌ステージ三と思われる、術後半年間の抗がん剤治療が必要になるとの説明を受けました。

三月二十一日教主様より、私のために特別の御祈禱をして頂き、手術成功と当病平癒の御神霊御札を賜りました。本当に有り難く手を合わせお祈りさせて頂き、毎日手を合わせ祈らせて頂きました。

四月一日教化会議の席上において、教主様より三種神言の一節「遠祖神恵み給め 祓え給い清め給え」の、「祓え」を「祓い」に変えて当病平癒を自らも一心にしつかりと祈念なさいと力強く御教導を頂きました。毎日必至に祈らせて頂きました。祈ると不思議と心が落ち着き、不安が消えていきました。

五月十一日入院、いよいよ明日手術かと不安で仕方がありませんでした。大和之大神様、教主様に必ず導いて頂けると、「トホカミエミタマモリタマエ サキハエタマエ」と心に何度も言い聞かせ念じました。五月十二日、手術当日の朝を迎えました。不思議と心が穏やかに落ち着いていて、神様に守られていると感じました。看護師に連れられ手術

待合室に行くと、中には四人程の手術待機者がおられ、皆さんの手術が成功するようにと祈らせて頂きました。自身も大和之大神様に祈念を致し、九時に手術室に入室、直ぐ手術台に横になり全身麻酔を投与されました。

今回は、内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチシステム)を用いた手術で、開腹手術より体に負担が少ないとの事でした。

手術中は当然ながら麻酔の効果で意識は全く無く、目が覚めたのは午後三時半、病室のベッドの上でした。体には点滴も含め四本の管が挿入されておりました。実際の手術時間は六時間かかったそうです。

手術中に担当医より、家族に今回は状況が悪ければ人工肛門を付ける可能性があると説明があったのですが、結果は人工肛門を付けずに済みました。本当に有り難く大神様の御蔭を頂きました。

経過も順調で、五月二十日に退院することが出来ました。

六月五日市民病院にて血液検査及び術後の経過、病理検査の結果を聞きに行つて参りました。担当医より病態評価結果の説明があり、開口一番「結果はステージ二でした。」との事。えっと驚き、もう一度先生に聞き直しました。

普通であれば、結果が悪くなることであっても良くなることは無いと思つておりました。

担当医より、今回はリンパ節に転移が無く、ステージ一で抗がん剤治療もしなくても良いとの事でした。本当に驚き、大和之大神様にお救いを頂いたと、教主様の特別の祈禱神事の導きお護りをいただいた本心に奇跡を起こしていただいたと手を合せ、胸に心に熱き血潮を感じずにはいられませんでした。

すぐに教主様に奉告させて頂き、本当に良かったなあと温かいお言葉を頂き感謝を申し上げました。



七月三十日には経過診断のため市民病院消化器内科を受診いたしました。担当医より経過も順調との説明がありました。今度、切除したところの状況確認と最初の検査で見つかったポリープ二個も切除出来るようであれば、切除しようとの事でした。

九月二十九日は内視鏡検査に行って参りました。今回の先生は初めての若い方でした。内視鏡が挿入され、切除した部分に到達したとき、先生は特に問題は無いですねとの事でした。

次に、更に奥に進み先生が何度か出し入れましたが、有るはずのポリープが見当たらないと。先生曰く手術の際同時に切除したものと思われるすとの回答でした。

有るものが無くなっていることに改めて本当に奇跡であり大和神々の御神力、教主様の祈祷神事を願して頂いたことを心深く悟り、感謝申し上げます。

そのような事で、今回大腸癌を患いましたが、人工肛門を付けなくて済んだ事、ステージ三が一になった事、ポリプ二個が無くなるという奇跡が三度も起きました。

これからは、三ヶ月毎に大崎市民病院・尾花医院を交互に受診し五年間検査をして参ります。

この寛解のまま、大腸癌の再発が無く、他の臓器へ転移もせず完治しますことを日々祈らせて頂き、益々教団の為に、信者さんを始めタイワトラブールとお客様の為に、一生懸命働かせて頂き、大和の信仰生活を実践させて頂き、御恩に報いて参ります。

此の度の体験により本当に大和之大神様、大國主大神様の有り難き御慈悲を頂きました事、教主様の力強きお導きを頂き、心身をお救い頂きましたこと、心より深く感謝申し上げます。

本當に有難うご御座いました。

大和教師の夫が  
私に託した宝物

神事部次長 品川 弓



開祖様がお生まれになられた十二月七日という尊きお誕生日に、信仰体験発表を皆様の前でさせて頂けますこと心より感謝を申し上げます。今年は私にとってまさに人生の大きな転換をしなければならぬ試練の年となりました。

私の夫の雅之さんが、今年の三月

二十二日に幽世に旅立ちました。享年六十七歳でした。この場をお借りしまして、教主様を始め皆様方には故人に対しての生前のご厚情を賜り心より感謝申し上げます。本当に有難う御座いました。

雅之さんは膀胱癌でした。通常は大変苦しみ、痛み止めが効かないほど傷むと心配しましたが、何も治療することなく医師が驚く位に、安らかな旅立ちでした。亡くなった日は雅之さんの実父の本命日と重なり、まさに尊き生命の親子の絆の連なりを実感いたしました。

人は常に毎日が当たり前で、明日

も同じ様な日が送れると思うている  
と思います。私もその一人です。常  
に一緒に生活している家族が目の前  
から居なくなつて初めて分かる気持  
ちを体験しました。

三年前に母を亡くし、この度、夫の雅之さんが目の前から居なくなつたことを、どの様に表してよいかわからなく、不安定な自分になつてしまいました。簡単に寂しいという言葉では表せない心の虚しさを痛感致しました。頭では皆誰しも同じ様に別れの辛さを乗り越えていかなければないのが定めと知つてはおりますが、「月日」という時間が一番の癒しとなるのでしょうか。

しかし乍ら、落ち着いてくると今度は、「後悔」が出て来て、雅之さんが生きている間にもっと寄り添って温かい言葉や態度で接してあげられればと自分自身の中で「懺悔」の心で一杯にもなります。そして、今は沢山の感謝も溢れて参ります。振り返りますと、雅之さんが亡くなる五日前に教務総長が自宅の方にお見舞いに来て下さいました。教務総長は「本来だと病気の時には、ましてや余命宣告を受けている中では、遠慮すべきと思うてきたが、雅之さんに対して後悔したくないから。」と思い切つて行動して下さいました。その想い

を受けて、どんなに雅之さんも心から嬉しかったかと思います。毎日、寝ていることが多くなっていたにも関わらず、ベッドから反動をつけて自分で起き上がり、精一杯の姿で教務総長とこの世での最期の言葉を交わすことが出来ました。その時の言葉は私にとつても一生忘れてはならない言葉として胸に刻まれました。それは「我々は見えない世界から生かされているのだから。」との言葉でした。

まさに大和の尊き御教えである、「神界・現界・霊界」の三界の大調和を忘れてはならない、とのお諭しを言い遺して旅立つて行きました。こ

の世での最期の、大和の教師として、私にバトンを渡してくれたのだと思います。

雅之さんは生前、開祖様から一人  
生に悔いだけは残すなよ。」と教えら  
れていたことを聞いていたので、私  
から「雅之さん、何か悔いはいりま  
すか。」と訊ねたら、きつぱり「何も  
悔いは無い。」と答えてくれました。  
その返事は、残された私の為に断言  
してくれた優しさだったと思います。  
ただ一つだけ、「俺が死んだら大國神  
社の祖霊殿に永代奉斎で祀つて欲し

い。」と私に遺言されました。亡くなって直ぐにその約束通り、教主様に大変手厚く特別浄靈慰霊にて浄めて頂いた上で、祖霊殿の永代奉斎慰霊にてお祀りを頂きました。また、雅之さんが亡くなる凡そ二ヶ月前の今年の一月の外寒行の時、毎年自宅の方に相双分祠長でもある畠山真由美先生が先達となり、ご奉仕に二十年程来て頂いております。その間、雅之さんが元氣な時には海の幸をふんだんに使って真心を込めた手作りカレーを、張り切って作りもてなす喜びをもつて、楽しみに待つておりました。今年も、自分ほもてなすことが出来なくても、どうしても挨拶だけでもと顔を出して、少しお話をした中で、「俺は神様が決めた結婚で良かったと思うっている。」と伝えてもらいました。それも、この世で最期に言い遺しておきたかった言葉だと思ひます。

て四十九日の朝に、私に夢を見せました。その夢は、何人かと私たちも一緒に空港に向かつて歩いていて、途中私が忘れ物を思い出し、「自宅に戻つて来るね。」と伝えたら、雅之さんが「俺、先に行くから。」とそのまま背中を向けて歩いて行つてしまいました。私は必死で忘れ物を取つて追いつこうとしました。「ああもう無理だ。出発時間に間に合わない。」というところで、目が覚めました。その忘れ物と云うのは赤いリュックでした。

夢から覚めた私は「赤いリュック」のことをようやく思い出しました。それは震災や相馬における大地震を一人で乗り越えていくため、万が一の時に備えて雅之さんが黒のリュックで、私が赤のリュックというお揃いの防災リュックを準備して雅之さんの部屋の箆笥にしまっておいたのです。四十九日までは、魂は自宅に居るとの言い伝え通り、自分はもうこの世で一緒に居られないからせめて、その防災リュックを思い出させて「頑張つて生きていけよ。」との強いお諭しだったと思ひ知らされました。雅之さんは何時もいざという時には力強く私を守っていてくれたことに、改めて感謝しております。そして誠心誠意、私の母の介護も六年間して頂きました。私が無事に母を見送れたのも雅之さんが居てくれたお陰です。

今年の八月の入盆の時にも不思議な事が起こりました。八月十三日の迎え火の時には、すんなりと火が点き、穏やかに迎えられたのですが、八月十六日の送り火の時には、何度火を点けようとしても消されて点きませんでした。その状態だと、普通は「御霊様がまだ帰りたいくなくっているんだ。」と解釈するだけなのですが、私にはそれだけではなく何かを伝えたい様な気がして、少し時間をおきました。すると、大きな花火の音が「ドン」として、びっくりました瞬間、

「ああ、分かった。この花火の音を一緒に聞いてから幽世に帰りたいかったのだ。」と思った瞬間、今迄が嘘のように、すぐさま火がメラメラと燃えて送ることが出来ました。

また、私が教会に出向する前に、祖霊舎御霊舎に手を合わせ「家を留守にしてごめんなさい。守っていてね。」と伝えた時に、はつきりと雅之さんの声で「救つてやれよ。」との力強い一言が聞こえて参りました。「大和の巫女、教師として信者さんを先ずお救いする事が一番だぞ。」と私の背中を押して、応援してくれている事を実感致しました。まさに今、雅之さんは開祖様のもっとで更なる大和の教師として、修行している事を確信致しました。

「幸せはこの世のものだけではない。あの世での幸せを掴み取らなければ本当に信仰したとは言えない。」との、尊き御教えの通り、私たちを大和の大神様、開祖様が見えない世界・幽世から力強く導いて下さっておられ、この世では教主様がこの尊き御教え通りに生きていけるように力強く導いて下されておられます。

幽世に旅立つた雅之さんの導きの一つ一つが、「大和教団」の開祖様を通して、私にことあるごとに分かり易く、教えて下さることに、心より感謝申し上げます。私もこの世で精一杯、大和の教師、巫女として更なる努力精進をさせて頂き、幽世にて大和の大神様、開祖様、そして私をずっと見守り続けている雅之さんの元に帰れますように皆様方と大和の信仰で力強く歩んで参ります。

本堂に「大和」は素晴らしい事を私の本日の信仰体験発表を通して更に一人でも多くの方に語り継ぎ、広めていく事が、開祖様、教主様に私の人生をお救い頂いた事への御恩返しとして、新たな出発として歩ませて頂きます。

本日は本当に、この様な機会を頂き誠に有難う御座いました。



# 教主様特別講演 『開祖さまを語る』

皆さん、おはようございます。  
私も開祖様の映像を見させて頂きました。開祖様は若い頃は体が弱く、母チャウ様は全ての財産を棄代に使われたと聞いております。



教主様より数多の力強い御教えを賜った

ありません。

私は中学から仙台の母の元へ参り、今の神光殿の所にあつた古い屋敷に住んでおりました。昔の伊達藩の弓の師範代の屋敷跡で私が住む前は料亭として使われていた建物でした。仙台へ行った母と暮らせると思つていましたが、母は朝から拝んでいたり、出かけていたり、一緒に住んでいても殆ど会えませんでした。

女手一つで、私を大学へ行かせてくれました。兄も大学へ進学しており、私は明治大学法学部へ入学しました。

神様の学校ではなく明治大学を受ける際に、「もし法学部に入ったら教団に帰り、お役に立ちたいです。合格させて下さい。」と願いました。ある時、母は「受かった。受かった。」と明治大学の合格通知を手に、雪の中を下駄履きで走って来ました。今になりそれが母親の精一杯の愛情表現であつたかと思ひます。

迎賓館が竣工し、ある日、お会いに伺うと拝んでおられ、帰ろうとして座るように言われました。男性の声で「お前のことはわしが導くから、神様のことをやれ。」と申されました。開祖様は拝み終わると「ああ、敬一郎爺さんだな。」と。祖父の敬一郎様が私を導いて下さるから神様にお仕えしなさい。という

うことでした。

大学卒業後、教団の事業部に所属致しました。参拝講、出羽三山を努め、薬草や健康食品等、様々な物を販売しておりました。開祖様は「今後、旅行業においても法律が難しくなる。出羽三山に何千人も集うなら旅行会社が必要である。」と申されました。旅行業取引主任の許可を持たないと営業できません。教団に出入りしていた方との付き合いで、友人を紹介され、ミズホ観光という会社を立ち上げました。今のタイワトルです。私も旅行業取引主任試験を受けて合格致しました。

娘の秀香が中学生の頃、「お父さん土のある家に住みたい。」と漏らしたことから土地を探し、神社からも近くの泉区館に居を構えて、今も暮らしております。開祖様に見て頂き、ここは良いと申されました。売りには出していなかったのですが開祖様は聞いてみるようにと申され、不思議と売って頂ける事になりました。大和教団の話をしましたら、その支店長の家人が教団の信仰しており譲ってくれたのです。更に開祖様は、五百坪位の区画の全てを買つておくようにと申されました。この様に、開祖様のお話しに、私は全て素直に従いました。

今の金剛蔵王大権現様の鎮座される処に綾里の郷の岩肌のような大きな荒々しい石がありました。開祖様が、「この石に私が修行した姿で銅像があると良いな。」と申され、開祖様の奥都城の傍にその石を移し銅像を建立させて頂きました。

また「御霊を供養、お祀りする建物があるといいよね。」とも申され東日本大震災の二年後に、開祖様の思いを頂いて祖霊殿を建立致しました。信者さんだけでなく、街の人々もこの御山に来られるようにと清美をして参りました。正参道に大中小の

灯籠を百基余り建て、桜も六百本ほど植樹し、春には桜満開に咲く見事な御山となりました。

開祖様が幽世に行かれて翌年、境内地裏山にかたくりの群生が発見されました。そして毎年白いかたくりが一輪だけ咲きます。紫の可憐な花のかたくりの中に、白い凛とした一輪のかたくりの花。それを見た信仰篤き人は開祖様の生まれ変わりではと。私は本当にそう思いました。

この御山は宝の山、救いの御社で、役の行者・神変大神様がお授け下されたと云われますが、水がありませんでした。部落の人は達磨ストープにやかんで沸騰させた後、湯冷ましを飲んでいました。

開祖様が拝み「ここから二里、乾(西北)の方角に湧水がある。長老に聞きなさい。」と申されました。武田先生という方が、集落の方々に聞いてみると、水の出る話を爺さんから聞いた、という方が見つかりました。行つてみると直ぐに水源が見つかったそうです。参集殿のお風呂は白い粉吹く鉱泉水、カルシウムの強い神の湯なのです。

もう一つ、御本殿を建てた時は赤土のはげ山で、後ろに雑木林だけでした。ヒマラヤ杉を植えました。なかなか育ちませんでした。けれども何時の間にか、鳥が運んだ種が成長したのか小さな杜が出来て、かたくりの花が授けられました。大きく三つの不思議な宝物を頂きました。

仙台市内の北山霊園に保積家のお墓がありますが、開祖様は「この御山に鎮まりたい。」と申されました。墓地の許可を取るのも大変ですが、保積史子様お一人だけなら良いとなり、今の場所に奥都城を建立させて頂きました。

「人は身罷れば土に還る。魂は永遠に消ゆるものなく、神となるものにあれば」という教えがあります。

体は土に還り、別の命の肥料となります。また、人として再生出来るような器になります。私が建立させて頂いた帰神墓はそれを表します。必ず甦ります。神身成就の信仰と説きます。

此の身此のまま生き通し神となります。死んだら終わりではなく、生き続ける命があると教えています。皆さんの命は、天照大御神様の命の霊(ヒ)を分けてもらったものです。ただ亡骸を埋めれば良いではないと諭されております。神帰るお墓です。亡骸が浄化されて、立派な人の体となつて生まれ変わります。

理想のお墓は前方後円墳、天之鳥船の型です。神の世へ行くのです。しかしあれだけの規模は出来ません。考えに考えた末に前石塔後円墳型としたのです。

神道墓は先が尖つていて、神に帰る形を示します。器械、神器です。開祖様の何気ない言葉は全て私の心に残りました。

教団に入り二、三年後、開祖様に作法等お教え下さいとお願いしました。明日から朝三時に、弟の孝信と来なさいと申され、一日目は二人で行きましたが、二日目から彼は来ませんでした。朝の三時から忙しく、信者さんも待つていて相談したり、教師達が連なつてお伺いをしたりとかで、私に教える時間など有りませんでした。次の日も、三日目も駄目でした。五日目になつて三十分位教わりました。

正直、せっかく来ているのにと腹も立ちました。後日、教えたことも教えられないお立場、辛かったことでしょうと感じるようになりました。母親としてしたくても出来なかったこと、それが分かるようになりました。道は自ら求めてこそ、力になるのです。

私は学生時代合気道をやっていま

したが、友人から「お前、何を不貞腐れているのだ。仕送りはお前が三万円、お前なんか二万円だ。月に一度、常盤台に行けばお母さんは来て居るのだから。」と云われ、目が覚めました。その友人からは「女手一つで東京の大学なんて大変な時に、行かせてもらつて、仕送りを頂いて、有り難くないのか。」と諭されました。開祖様に「私のことを拝んで下さい。」と頼むと、「あなたのことは拝みません。」と云われ、「訊ねたいことがあれば、御神像、大物生大神様に聞きなさい。願いをかけて叶うなら軽く、叶わないなら重くなつて上がないから。」と。私が行中に腰を痛めて入院した時も、病室へ御神像を運んで頂いて、重軽神託をやり続けました。段々の中率が上がり、私の霊能開発はここから始まりました。

此度、「生きる智慧 笑顔の人生を」という教書を出しました。三千言余の神典から教務総長に九十九言を選ばせて、笑顔という文言を拾いました。そして行に入つてけた時の思いを「自覚自戒」という短編詩にしましたので、ご紹介します。序文です。

## 「再刊随想記」

此の「自覚自戒」は、昭和六十三年一月より、第三回目の百日間徒歩行の志を立て、一人行に入行し無念にも断念せざるを得なかった折に記させて頂いた詩篇です。

厳寒の深夜二時、錦町本庁を基点として、宮城町芋沢地区の大山山大神宮(現大國神社)への五里二十キロ余の道程にて、道路は凍てつき滑り、髪も凍えつく誠に厳しいものでありました。

峠は街灯が少なく、林道には全くない暗闇の中にて額用の電燈と懐中電燈を持つての徒歩行となりました。



本庁を出立して八幡町より山手の国見の峠を経て国道に出で、横断、山に入り林道を歩き続け宮城町芋沢に抜ける道に至り、大市山へ向かう行程にて、約五時間を要したと記憶しております。山道では獣の薄気味悪い鳴声や森(うごめ)く如の音も、少々恐怖感をもつものでした。

到着後、境内を巡拝、本宮を拝し潔斎、朝食を頂き、直ぐに日常奉務につきました。出来る限り奉務に影響のなきとするも行の一つでもありました。睡眠時間は三時間も無かつたのではと記憶しております。

六十日目の朝、少し腰に不安を抱えながらも出立、何とか行を為し一旦帰宅、酷い痛みを感じ、青年部の一人が指圧的な講習を受けたこのことで、治療を願う。されど逆作用が生じて、立つも歩くも屈むも出来ぬ状となり、トイレに行き排便、排尿も困難で、尿瓶を使うなど生れて初めての経験をしました。このような姿にて無念にも断念せざるを得ずとなりました。

私のこと聞きて翌日の午前三時前、開祖様が出張される前に立寄られてご祈禱をして下されました。お忙しい最中、愚息愚体の為にわざわざお越し頂きお祈りをして下されし、その慈愛に涙のこぼれるばかりでした。そのような想いを書き記させて頂きました。床に伏す日々に様々の想いが込みあげ、その想いを綴りました。

七日程し、人の勧めもあり、東北大学病院の先生が新しく開院したという仙台整形外科病院の特別室に入院をしました。



行の尊さを体現なされた開祖様

その際、神拝詞と当時の教務部長の蜂谷喜久代さんより拝借した修行資料などを持参致しました。読み始めると、何ものかに取り憑かれたように夢中になり読みふけりました。これ程素晴らしい教えであつたのかと、その文言が熱き感動となつて心に響き亘り、涙溢るを禁じ得ませんでした。何日の間にか机の椅子に座しペンを取りまとめておりました。そして、御神託をせねばと、教団に連絡し、大國主大神様の御神像を持参してもらい、何時間にも亘り重軽神断を執行致しました。その姿を見た看護婦さんから、「保積さんは何の為に入院したの。」と、笑いながら話し掛けられました。

腰の検査結果は手術することはないとの診断にて一ヶ月程の入院で済みました。その期間、御神託をしながら、御教えを書き続けました。

退院後に開祖様は、「あなたはこの試練をお与え下されたのは、大國主大神様ですよ。」と。これまでに学び修めし大和の御教えを、大神様の大神心を教本、教書としてまとめさすべくの道とお話し下されました。

当時の教団にはその如き書籍が全くなかつたのです。まず、開祖様の「お年寄りでも読める、分かり易いものを作してほしい。」とおこころを拝し、開祖様の誘いにて、山形県羽黒手向の笹沢温泉に療養を兼ねて逗留なし、「大和の言葉Ⅰ」「大和の言葉Ⅱ」「大和のおみちびき」「行なるべし」の四冊の教本をまとめさせて頂きました。

その後は、教師養成の為の「研修教本」を編纂、五百頁にも及ぶ大作となりました。これを「仕上げるに一月余り、只管に書き続けました。B5サイズ五十枚の何十冊にも及ぶその原稿は今も記念として大切に保存しております。

私の大和の教書、教本の著書活動に至る経緯は、開祖様の申されしごとと大神が私の体をもつてしての大神のみちびきの力としかいいようがない貴重な体験をさせて頂きました。これを契機に折々に教本、教書を刊行させて頂く、その力を賜りましたことも、今更のごとく感謝の一念を心に刻んでおります。私は、大きな悟りを頂きました。

人間、一度為すと決めたなら大神にご祈念申し事為せば、必ず達成成就するの絶対の信念を賜りました。それが行ほど尊いものはないとの覚悟ともなりました。

皆様も大和信仰の五大信条である「和心・感謝・信念・努力・実行」の御教えを心に固め、神身成就の人生を歩んで頂きたいものと祈念するものです。

再刊に寄せて思いのままに記させて頂きました。

尚、「花のように生きる」の詩篇も添えさせて頂きました。 謹謝

令和七年九月神縁日

教主 保積秀胤

### 「花のように生きる」

絶対に貫くと決めた此の道です

試練が大きい程

私は強く生き抜きます

今が厳しい程

私は強く生き抜きます

障害の多い程

私は前に突き進みます

自分の道のために

命の限り生きて生き抜きます

辛い時程

自分がよく見えます

苦しい時程

他人の優しさを感じます

道の険しい時程

尊い汗が流れます

今日も私は

自分の道を切り拓くために

一所懸命生きています

世の中には

本当に力のある人がいます

夢を大きくもって

強く、強く生きている人がいます

私は今、挫けそうな弱い心を

励まして、必死で生きています

花よ、何故にあなたは

変わることもなく、咲けるのですか

人は生きることにはずるさを識り

安易な道を求めてしまうのに

花よ、何故にあなたは

変わることもなく

生きていくのですか

私もあなたと同じように

生きてゆきたいのです

明るく、優しく、美しく

そして、変わることもない

### 「神の随に」

我が愚体、腰の病に倒る

三度の百日の行

六十日目にして挫折す

甚だ無念なり

甚だ口惜しきなり

此度の行

一切が神の随になれば

此れも神の与えし行なるか

### 「自覚自戒」

我が腰に激痛走る

我が身体、我が意ならず

一心に神に念じしも

如何んとも、成し難し

悔しき哉、この想い

無念なる哉、この想い

如何なる神の咎しめや

如何なる神の、御悟しか

我れ、自問自答す

我れ、自覚自戒す

### 「教祖さまの御心」

教祖さまが

見舞いに見えられる

外はまだ暗いでしょうに

外はまだ寒いでしょうに

愚息たるこの教子のために

御身、お厭いもせずお越し下さる

その暖かき、その御姿に

只々有り難く

我が心、手を合せ摩るばかり

我がこの身体を如何にも優しく

如何にも力強く祈禱なさる

その尊き、その御姿に只々勿体なく

我が心、涙するばかり

教祖さまのその御姿は

大物生大神の御姿なり

教祖さまの、その励ましは

大物生大神の御声なり

嗚呼有り難き哉、教祖さま

嗚呼勿体なき哉、教祖さま

### 「汝、祈るべし」

我が身体動けず、苦痛なれど

我れは、祈る

我が心に、一つの示しあり

「汝より苦しき人のために祈るべし」

「汝より不幸なる人のために祈るべし」

この示し、天声非ずして何たるや

我れ思わず合掌す

「我が身より苦しき人を救い給へ」

「我が身より辛き人を救い給へ」

「我が身より不幸なる人を救い給へ」

幾度か祈りしや

我が胸に熱きものこみあぐる

我が目に熱きもの流るる

この熱きものは何たるや

神示の悟りし喜びか

御教えの尊きを識りし感激か

他人さまの幸せを祈らんと

神の授けしこの祈り

「世界平和万民福祿寿、遠神恵給

惟神、厳魂幸給」と祈りなす

有り難きはこの祈り

尊きかなこの祈り

### 「心は自在」

我が身体、少しも動かず

されど我が心

大自由にして

大自在なり

我が身体、甚だ苦痛なり

されど我が心、爽やかにして

豊かなり

他人さまの苦痛全てを知るは叶わず

されど我が心、他人さまの苦痛

少しく思うは叶うなり

「幸・不幸は、心次第なり」

この御教えを実感す

不幸なりし、その心

他人の身になりし、その心

神は示さん

有り難き哉、大神

勿体なき哉、大神



「我が身のために」

我が身のために 祈り賜へし人  
我が身のために 仕事賜へし人  
我が身のために 治療賜へし人  
我が身のために 看護賜へし人  
我が身のために 励まし言葉賜へし人  
我が身のために 多くの人の心拝受せん  
有り難き哉 人の恩尊き哉人の恩  
我れは幸せもの  
我れは実に幸せものなり

最後に、「えがおのまなび」という  
教えの中から、  
「人を不幸に導く願いは叶わない。  
願いは人々を笑顔に導くときだけ  
絶対に叶う。」

「笑顔の先に、永遠の幸福がある。  
お互いに許し合い、助け合う心、  
そういう心をつくりあつてこそ、  
社会にあつても、家庭にあつても、  
円満に、楽しく笑顔で過ごしてい  
くことができるのである。」

「善行は好い心に導かれて内心清  
浄の結果を醸し、心には太陽の如  
き明るさを内包しているの、い  
つも笑顔がはち切れそうになる。」  
「大國主大神様は、人々に笑顔のこ  
ぼれる幸福の道を与えんとして、  
日々お働きになつていらっしゃる。」

有り難い教えが沢山ございます。  
本書は信者の方、崇敬者の方に限  
り協賛の浄財を奉納して、神様に  
感謝してお受け下さいとしており  
ます。

一千日大行三度目の終わった頃か  
ら、体に異常をきたし、蜂窩織炎で  
右腕が腫れあがり皮膚が犯され、も  
う六年になります。でも、こうして  
お務めが出来て皆さんの御祈禱も出  
来てお話し出来ます。有り難いです  
ね。御諭しを受け本日の齋主をご奉  
仕させて頂きました。今迄、私の跡  
を継ぐであろう保積志胤に開祖様と

の縁を結ぶためにも、数年はお祭り  
をさせて頂きました。私はこれから  
も体の続く限り、命ある限り、この  
開祖様への感謝の思いを自ら祈る。  
それが務めであろうとことを悟證す  
ものです。

今日は八十年間導いて頂いた御恩  
に對し、少しでも報いるべくのお祈  
りを仕えさせて頂いた次第でござい  
ます。開祖様の祈りは天地に通ずる  
祈りです。弟子の私も、そういう祈  
りを努力せねばなりません。自分自  
身の中の神様、御仏に感謝をもつて  
祈ることです。天地の神々の御力を  
収め授かりましようということです。



開祖様と教主様(昭和63年11月9日出雲にて)

「トホカミエミタメ」は、その祈り  
詞です。天地開闢、そこに自分等が  
神となるべく生き通し生きるのです。  
自分の子孫を守るだけの力を持  
つて、幽世に旅立つて欲しいもので  
す。その為が一番の奉仕が、一人が  
五人を導いて共に信仰するといふ  
善導奉謝行です。教団の信者さんの  
多くは、人を導くことが本心に苦手  
で、人を導けずにおります。神様の

御神徳を、開祖様の慈悲を信者の  
皆さんから伝えて欲しいのです。そ  
れが布教です。二年後の令和九年に  
立教七十周年を迎えます。私の願い  
でもある、この御山に五千人の信仰  
者を集め、開祖様の教えを説きたい  
ものと。これほどの宗教人がいらつ  
しゃつたと、それを伝えたいのです。  
今、開祖様の代からの信者さんも  
歳をとられ、新たな信者さんを導か  
ねば幾ら有り難い神様でも幾ら尊い  
教えがあつても、繋がつてはいきま  
せん。死んだら終わりではありませ  
ん。幽世での生活も大神様の御神光  
の元で、開祖様と結ばれるような生  
き様で、その死に様をなさつて欲し  
いものです。あの世へはお金、物、  
財産、地位、名誉、何も役立ちませ  
ん。この世の祈禱で救われたとして  
も、あの世でどうなるかは分かりま  
せん。皆さんの己の心が如何であつ  
たか己が魂の光は如何であつたか、  
善導奉謝行によつて、その道を開い  
てもらいたいと思います。大神様の  
手足となつて、大和という教えを、  
せめて五人の人に伝えて、共に信仰  
をして頂きたい。幽世に行つて神と  
なる務めです。ご自身、家族だけの  
幸せではありません。

人間は今、二度殺されると云うの  
です。亡くなると、葬式もありませ  
ん。火葬場にはお寺さんも、神職も  
誰も居なくて、ただ焼かれて終わり  
です。何年忌という供養が残つてい  
たとしても、それすら廃れてきてし  
まつています。お墓も事情があり、  
無くなつていきます。開祖様の思い  
出語りをするように皆さんの思い出  
語りを家族等や知人関係が為さねば  
また殺されるのです。二度殺されて  
はなりません。生き通し生きるとは  
何時でも思い出語りをして慕われる  
ことです。それが一番の供養です。  
皆様方も子供に大和の信仰を伝えら  
れなければ、それで終わりです。こ

微笑みの稽古

- 一、微笑みこぼれる感謝の  
言葉稽古しましょう  
有難うございます  
お蔭様でございます  
勿体ないことござ  
います
- 一、微笑みこぼれる笑顔  
稽古しましょう
- 一、微笑みこぼれる心を  
稽古しましょう

の世でだけ信仰をしていても、幽世  
に行つて悲しいことになります。ど  
うか伝えて偲んでもらつて下さい。  
お爺さん、お婆さん、父に母に種を  
残して下さい。種を植えなければ芽  
は出ません。解らなくても種だけは  
残さない。自分が死んだらこうし  
てと、大和の供養でも何でもきちん  
となさいと伝えなさい。

開祖様も今日、どのように感じて  
おられるか。もつともつと多くの方  
々に敬われて、慕われて、更にお元  
氣で我々を導いて頂きたいと思つて  
おります。

自分の命を自分で絶つなどという  
ことは絶対にしてはなりません。自  
分の命は一つもありません。父母、  
先祖、神様とつながります。自分の  
魂は天照大神の分け御霊、天津大  
霊の力です。自分を大切にすること  
が、父母、神様への一番の親孝行と  
思つております。自分を粗末にしな  
いで下さい。生きている時、幽世に  
旅立つ為に、力強い魂の光を持つよ  
うな信仰をして頂きたいものです。  
この世だけの救いではありません。  
大変今日は有難い日を頂きました。

幽顕界の永遠の救いと繁栄を願いて  
大和帰神合祀墓奉斎のご案内



大和帰神合祀墓(前方石塔後円墳)



大和帰神合祀墓竣工式(令和6年7月7日)

私たち霊止11人の死生観を説きし  
御教之中に、  
「現身こそ身退りては土に歸り  
霊魂は永遠に消ゆることなくて  
神と為るものにし有れば  
(出雲大社霊魂安定詞)」  
また、  
「我は即ち祖先に出で  
父母の身を経て現世に生れ出で  
今日この時に至るも  
その源は神に連なる  
我れは即ち神より出で神に還る  
(大和帰神詞)」

との真理を順守して建墓されし、  
前方石塔後円墳型の神道墓です。  
ご遺骨は晒布袋に納められ土饅頭  
の中の土に歸り、再生の道を歩み、  
霊魂は四角錐石塔を依代として、  
神界帰神を表象するものです。

合祀料 一柱 五十万円

〔永代祭祀料並管理料の一切を  
含みます。〕

埋納方 全ての御遺骨・分骨  
にての埋納、また、  
御遺骨に代りての  
御霊石をもって埋納  
させて頂きます。

形状 前方石塔後円墳  
場所 みやぎ霊園(西七区)





業務用包装資材・ギフト・卸

株式会社 仙台たかはし

一般家庭からプロの方まで

パッケージワールド パオ

takahashi

中国美点菜 Chinese Restaurant

彩華

SAIKA

仙台市青葉区国分町二丁目15-1

TEL 022-222-8300

FAX 022-222-8288

謹賀新年

居酒屋 小まき いち

店主 小山 義雄

〒024-0061

岩手県北上市大通り2丁目5-11

おだしまビル1階

TEL (0197)64-6158

クレーン作業一式・機械工事・故障車(大型・小型)けん引作業・産業廃棄物収集運搬自動車解体業

県知事登録第21101号 鉄板リース

有限会社 桜井自動車商会

福島県南相馬市原町区大木戸字松島206

TEL(0244)23-5604(代) 24-5669

FAX(0244)23-5656

創業万延元年

石 駒 株式会社

代表取締役 松田勝行 Established 1860

●本社 〒990-0031 山形市十日町三丁目10-20

電話 023-622-3364

FAX 023-631-8800

●工場 〒990-2474 山形市大字沼木字高野内2274番

電話 023-644-3380

http://ishikoma.net

石工 墓 奥 灯 石 狛 犬 像 彫 刻 籠 城 石 碑 事

羽 黒 山

三 光 院

粕 谷 典 海

山形県鶴岡市羽黒町手向92

TEL(0235)62-2302

FAX(0235)62-2274

信頼のコミュニケーション

ITOIN

印刷のことなら 早い、きれいがモットーの ITOINへ

営業品目

名刺・はがき・カード・封筒・帳票類・チラシ・ポスター・リーフレット・パンフレット・書類・地図・画集・カレンダー・帯紙・シール・堤札・商品券・ショッピングバッグ・包装紙包材全般・POP・フライヤー・小冊子・うちわ・ダイレクトメール・化粧箱・官公庁定期印刷物 etc.

〒984-0002 仙台市若林区卸町東2丁目2番10号

TEL [022] 235-1414(代表) FAX [022] 235-1454

株式会社 イトイン

御庭のお手入れならおまかせください！

見積無料・迅速丁寧

造園・エクステリア・住宅全般リフォームなら

株式会社アイエスプランニング

〒984-0051 仙台市若林区新寺 2-7-25-101

TEL 022-226-8063 HP:HTTP://WWW.isp-s.com

大國神社復興祈念碑庭園



大和立教六十九年

大和の御教之天地に満つ

ごだいしんじょう  
五大信条

みさとし  
御諭訓

和心 感謝 信念 努力 実行

信仰は己れの生命を  
蘇えらせ  
永遠の栄えを齎らす  
故に信仰は  
人生のいともの  
大切な仕事である

大和聖業

- 一、私たち大和の教信徒は、祈りと感謝と奉仕の生活を励行し、人格形成に邁進致します。
- 一、私たち大和の教信徒は、誠の愛行をもちて、善導救済の深謝奉仕に邁進致します。
- 一、私たち大和の教信徒は、人類社会に貢献し、国家の隆昌と世界の共存共栄に邁進致します。

幸福への道しるべの神  
おだいこくさま  
大國主大神を祀る

# 大國神社



大國神社にお参りし  
幸せのご神縁を結びましょう

厄除開運・商売繁盛・家内安全・受験合格  
良縁成就・安産祈願・子供守護・心願成就



〒989-3212  
仙台市青葉区芋沢字末坂27-14  
TEL 022(394)2720  
FAX 022(394)4192  
<http://ohkunijinja.org>  
300台収容駐車場完備

100種類を超える四季折々の山野草が咲き誇る  
大國神社山野草公園  
交通のご案内  
○仙台駅から(仙台市営バス利用)  
仙台駅西口バスターミナル⑩番乗り場  
大國神社行乗車→終点・大國神社下車  
○お車で  
東北自動車道仙台宮城インターより、  
山形方面約15分

緑と風と祈りの杜として親しまれ、  
多くの人々の崇敬を集めております  
大國神社は仙台市の北西約十六キロメ  
ートル青葉区芋沢に鎮座しております。  
自然と神々と人々の暮らしを一体と  
した広大な大國の杜は、大自然のもと  
山野草公園も整備され、かたくり草を  
はじめ、一年を通じて四季折々の草花  
が咲き継がれ、天神地祇八百萬の神々  
が鎮まります聖域として、全国各地か  
ら崇敬者が訪れます。